



インパクトコンソーシアム 第2期

会員向けアンケート結果取りまとめ

アンケート実施概要

インパクトコンソーシアム 会員向けアンケート実施概要

会員向けに、今期の活動の振り返りに係るアンケートを実施し、64件の回答を得ました。

趣旨・目的	インパクトコンソーシアムの今後の活動の参考																											
実施要領	【期間】2026年6月29日～7月8日 【形式】オンライン																											
アンケート項目 （概要）	① コンソーシアム全体について ② 分科会の活動について ③ 各社・個人の取組状況について																											
回答数	64件																											
回答者属性（n=64）		回答者の分科会への参加状況（n=64）																										
<table><thead><tr><th>属性</th><th>人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>金融機関</td><td>27</td></tr><tr><td>事業会社</td><td>16</td></tr><tr><td>中間支援組織、 コンサルティング会社、格付機関</td><td>8</td></tr><tr><td>政府機関、 国際機関、自治体</td><td>6</td></tr><tr><td>その他法人</td><td>5</td></tr><tr><td>個人</td><td>2</td></tr></tbody></table>		属性	人数	金融機関	27	事業会社	16	中間支援組織、 コンサルティング会社、格付機関	8	政府機関、 国際機関、自治体	6	その他法人	5	個人	2	<table><thead><tr><th>参加状況</th><th>人数</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>一度も参加していない</td><td>27</td><td>42%</td></tr><tr><td>1～3回参加</td><td>20</td><td>31%</td></tr><tr><td>4回以上参加</td><td>17</td><td>27%</td></tr></tbody></table>	参加状況	人数	割合	一度も参加していない	27	42%	1～3回参加	20	31%	4回以上参加	17	27%
属性	人数																											
金融機関	27																											
事業会社	16																											
中間支援組織、 コンサルティング会社、格付機関	8																											
政府機関、 国際機関、自治体	6																											
その他法人	5																											
個人	2																											
参加状況	人数	割合																										
一度も参加していない	27	42%																										
1～3回参加	20	31%																										
4回以上参加	17	27%																										

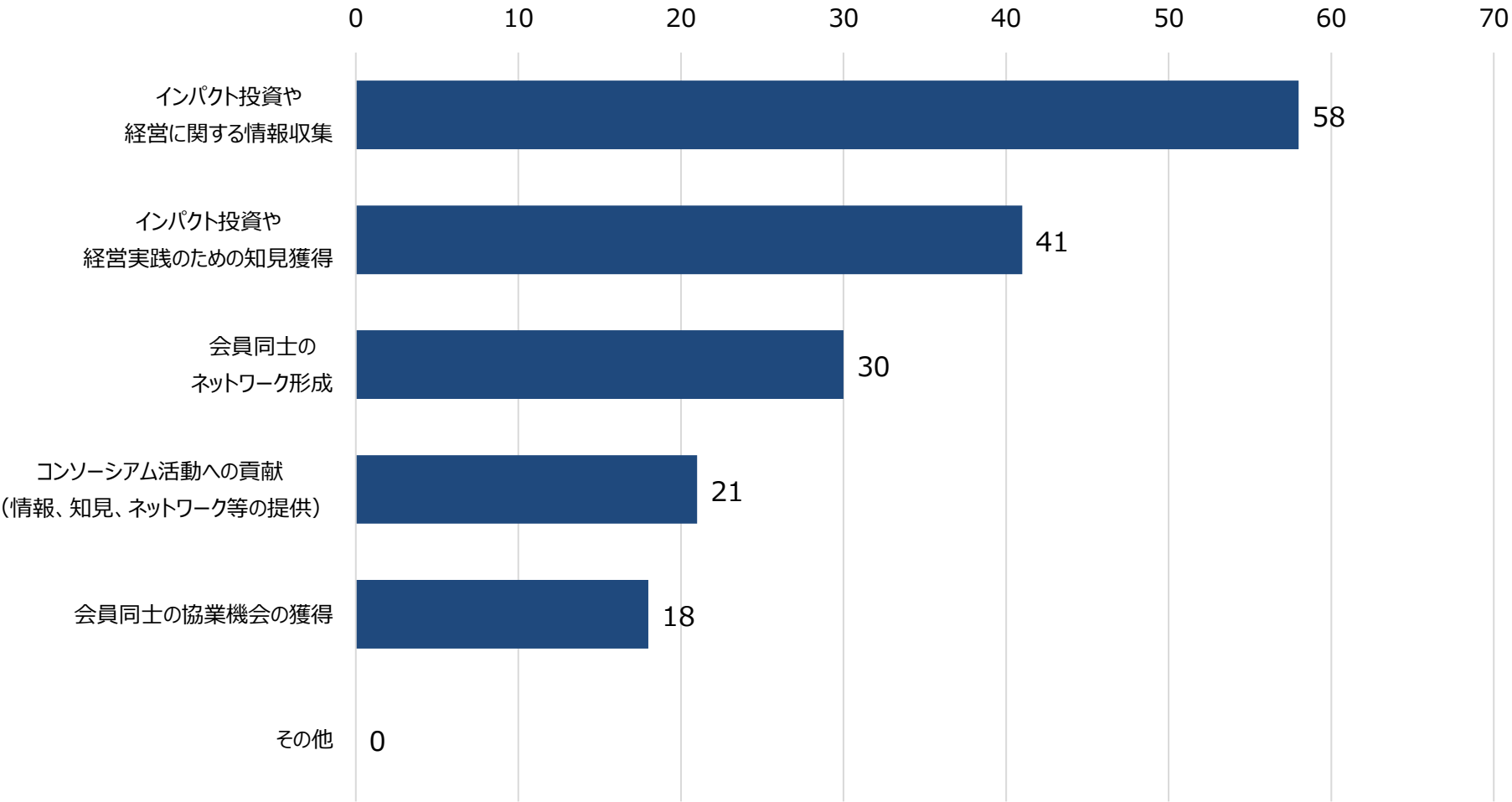
アンケート結果の整理

- ① コンソーシアム全体について
- ② 分科会活動について
- ③ 各社・個人の取組状況について

コンソーシアム参加の目的・参加目的から評価した場合の参加満足度

コンソーシアムへの参加目的としては、「インパクト投資や経営に関する情報収集」および「インパクト投資や経営実践のための知見の獲得」を挙げる回答者が多くを占めました。さらに、約半数の回答者が「会員同士のネットワーク形成」を参加目的として選択しています。

コンソーシアム参加の目的(n=64,複数選択可)

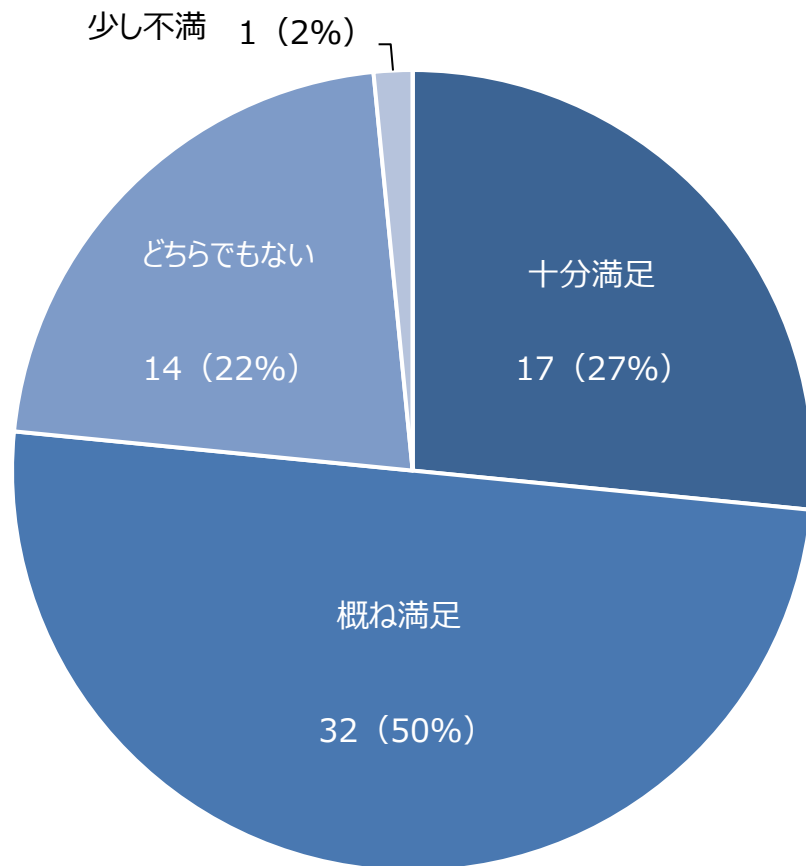


参加目的から評価した場合の参加満足度を選択した理由

活動満足度は総じて高く、約8割が肯定的（十分満足又は概ね満足）に評価していました。特に、情報収集の充実や多様なつながりに価値が見出されている一方、今後は参加機会や参加しやすさの工夫に改善余地があると見受けられます。

参加目的から評価した場合の参加満足度（n=64）

主なコメント（抜粋）



■ 十分満足

- ・ 先日、リアルイベントに参加しましたが、**官、民、そしてソーシャルセクターが一同に会している**場をあまり見ることがないので、とても意義だと思いました
- ・ 政策形成プロセスを進められる当局と一緒に目的・目線で活動ができたこと。及び、そこでの**議論や情報と自社実務との接続性**が担保できたこと
- ・ 対面で会う機会を設けて頂いたおかげで、**参加者同士で個別に面談・情報交換する機会**がありました

■ 概ね満足

- ・ インパクト投資に関する投資家や事業会社の**最新の動向などが把握できている**ため。一方で、協業機会の獲得までには至っていない
- ・ 情報収集はおおむね満足しているが、**交流機会はやや少ない**
- ・ **先進的な企業の考え方や取組状況等について知る**ことができ、今後インパクト投資を検討していく上で参考にさせてもらっている

■ どちらでもない

- ・ **入会間もない**ため
- ・ コンソーシアム参加の目的の1つであった会員同士の**ネットワーク形成がほとんどできていない**ため
- ・ 自由なディスカッションの時間が不足しており、**一方的な情報提供に留まってしまった**ため

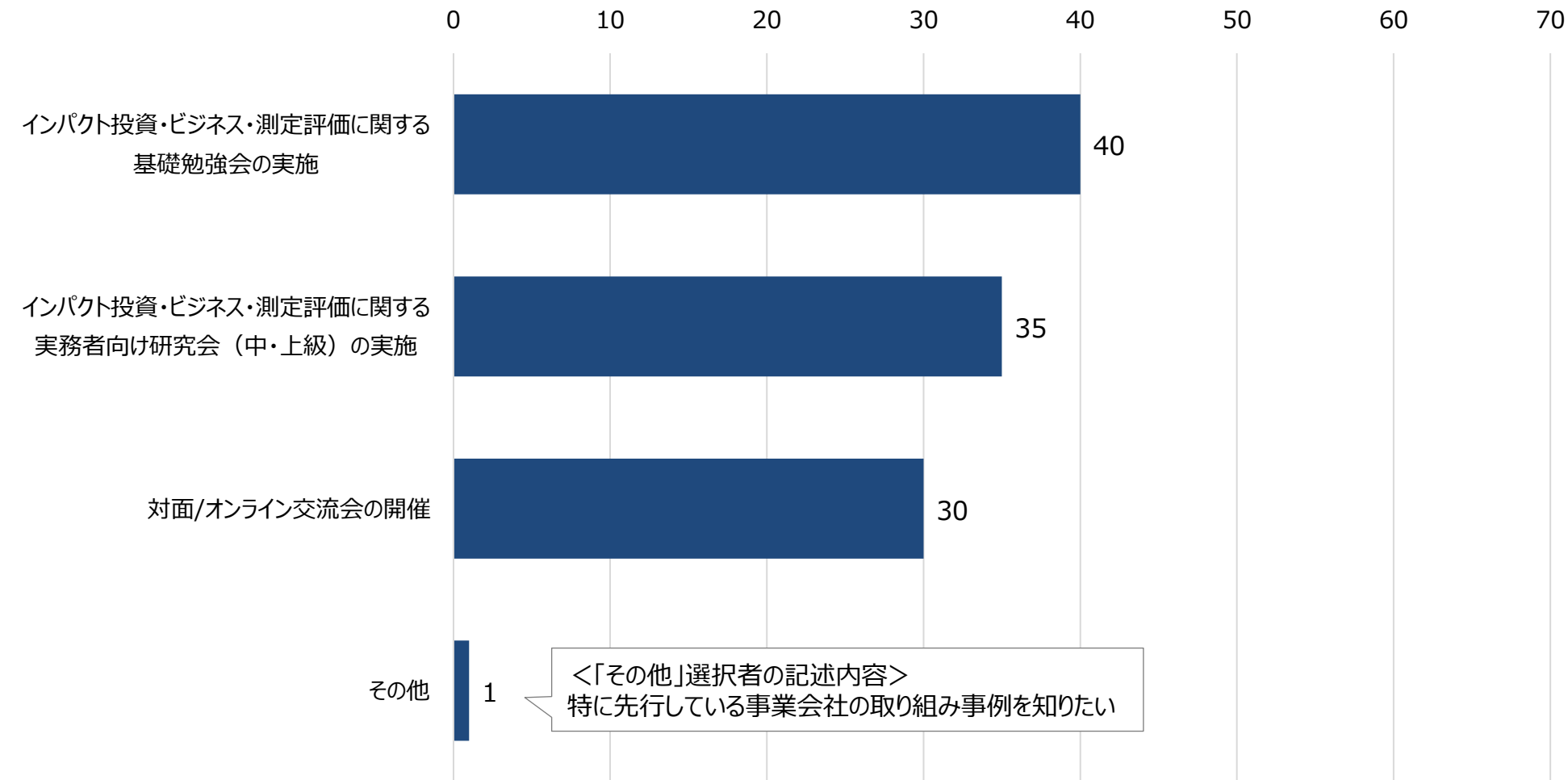
■ 少し不満

- ・ 分科会の**開催時間が長すぎて、なかなか参加することが出来ない**

今後のコンソーシアムに対する要望や期待

提示したすべての要望項目が、半数以上の回答者に選ばれており、本コンソーシアムに対する期待の高さが全般的に確認されました。

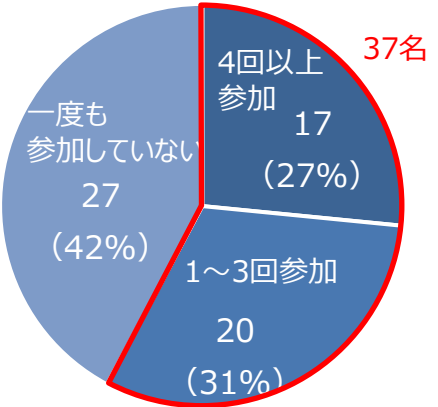
今後のコンソーシアムに対する要望や期待（n=64、複数回答可）



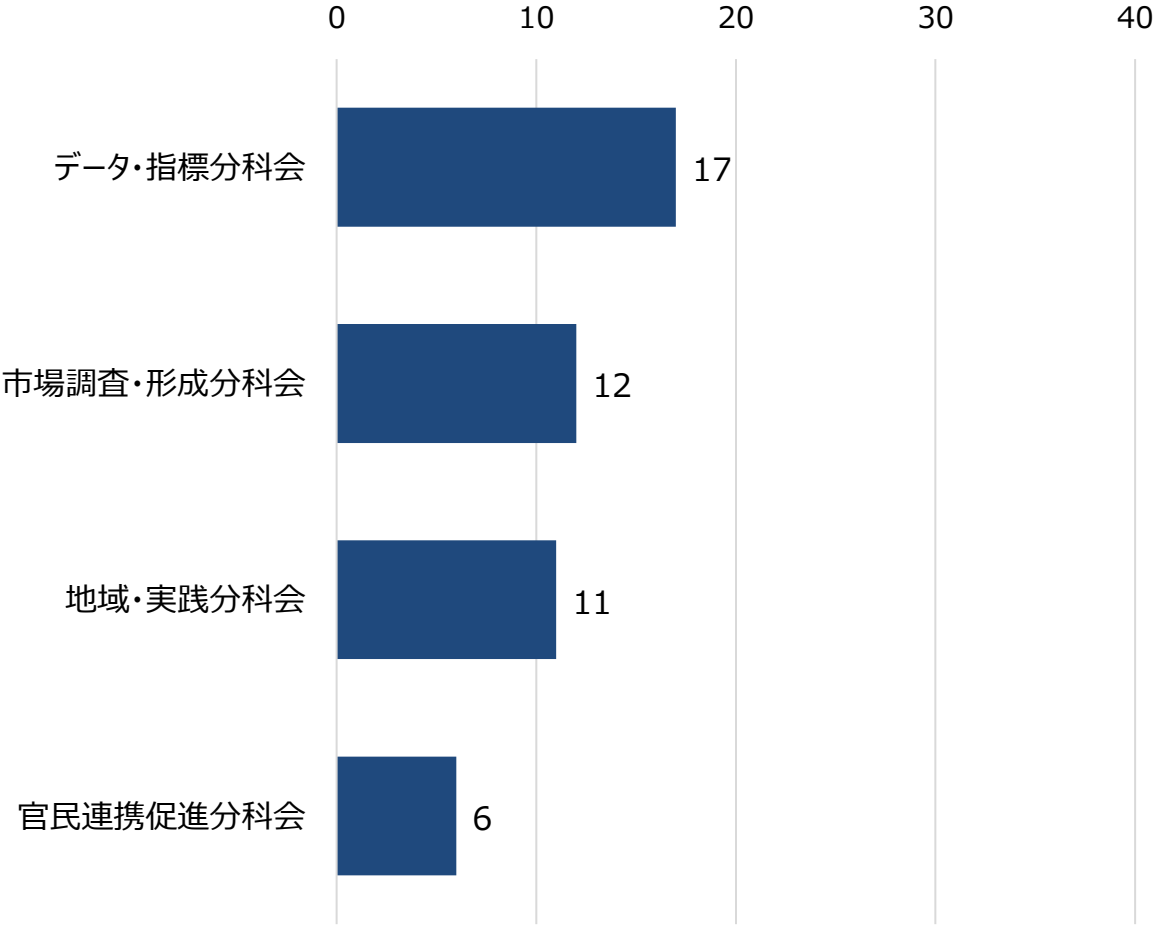
一番多く参加した分科会

最も多く参加した分科会としてはデータ・指標分科会が最も多く挙げられ、次いで市場調査・形成分科会、地域・実践分科会、官民連携促進分科会の順でした。

分科会への参加状況（n=64）



一番多く参加した分科会(n=37、分科会参加者のみ、複数回答可)

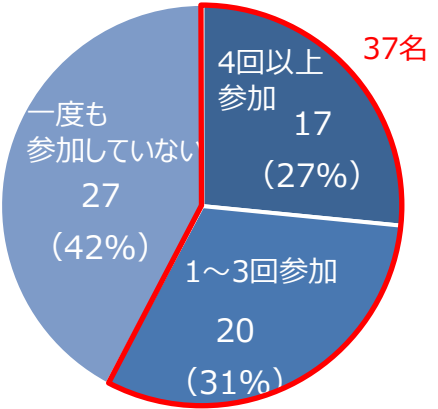


※ 複数選択可の設問であるため、回答結果が示すのは、各会合が最頻参加会合として選ばれた傾向となります。分科会ごとの実際の参加率や厳密な順位までは断定できません。

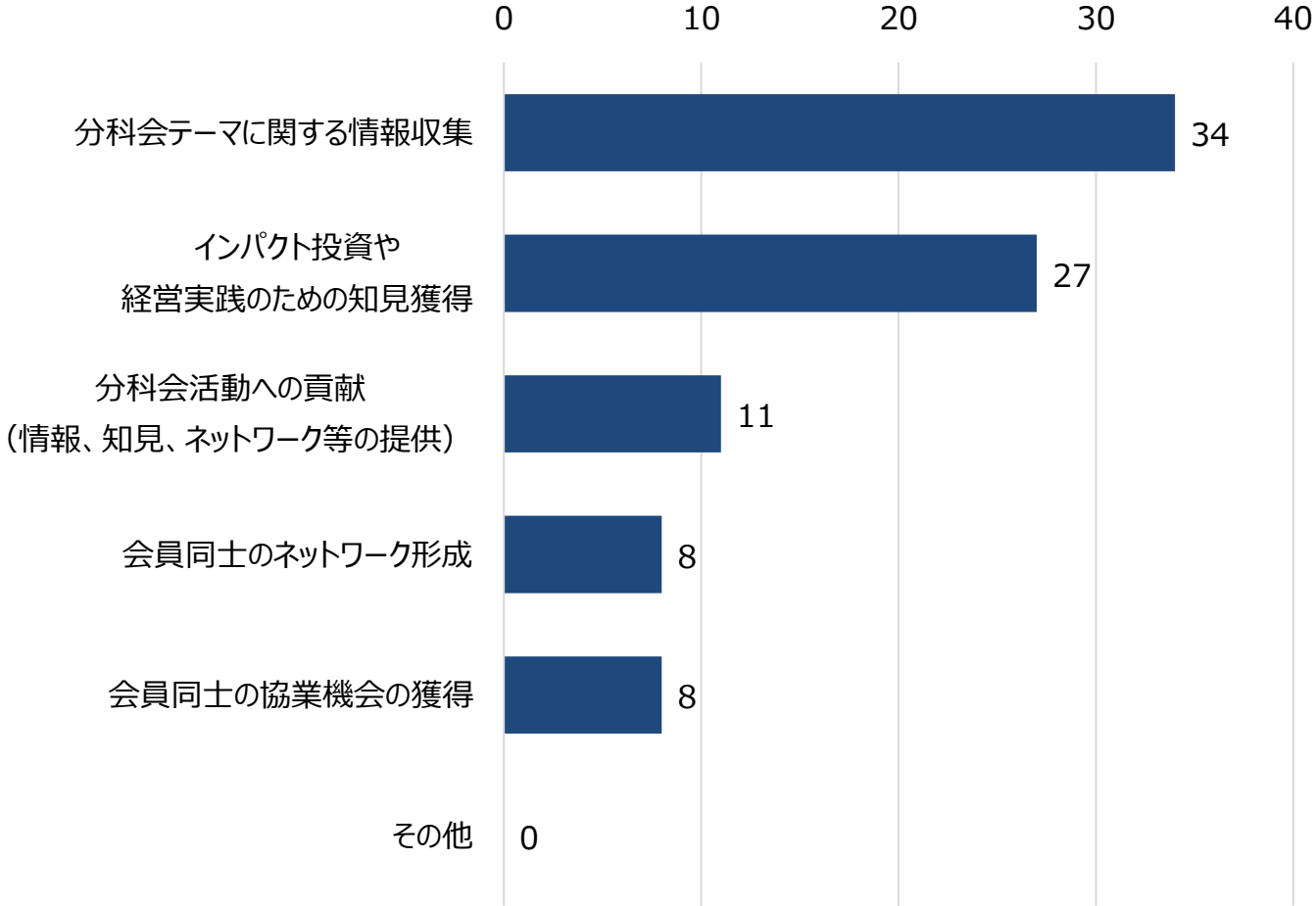
分科会への参加目的

分科会への参加目的として、回答者の大半が「分科会テーマに関する情報収集」を挙げました。また、「インパクト投資や経営実践のための知見の獲得」を挙げる回答者も多くみられました。

分科会への参加状況 (n=64)



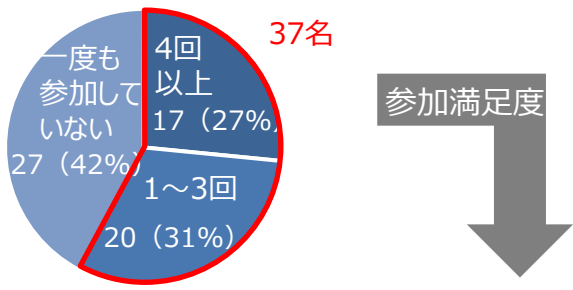
分科会への参加目的 (n=37、分科会参加者のみ、複数回答可)



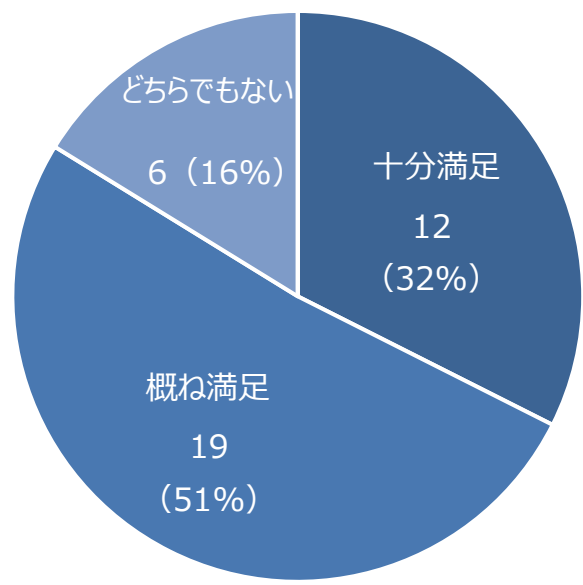
参加目的から評価した場合の分科会への参加満足度

分科会の満足度は総じて高く、約8割が肯定的（十分満足又は概ね満足）に評価していました。特に、情報収集や知見共有に加え、実践的な議論への参画や対面交流に価値が見出されており、一方で、参加機会の設計や議論の双方向性、ネットワーキングの促進には改善余地があると見受けられます。

分科会への参加状況（n=64）



参加目的から評価した場合の参加満足度（n=37）



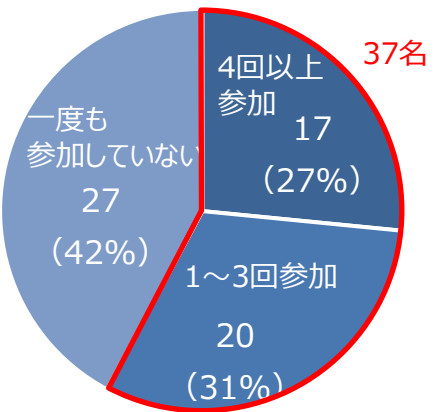
主なコメント（抜粋）

- 十分満足
 - ・ 弊社は「データ・指標分科会」のディスカッションメンバーに参加させていただいたことで、**ルールメイキングに直接参画する機会**を得ることができたため
 - ・ **政策形成プロセスを進められる当局と一緒に目的・目線で活動ができたこと**。及び、そこでの議論や情報と自社実務との接続性が担保できたこと
 - ・ 対面で会う機会を設けて頂いたおかげで**参加者同士で個別に面談・情報交換する機会**がありました
- 概ね満足
 - ・ 分科会の議論を通じて、**インパクト投資をめぐる国内の議論の状況について知ることができたため**。
 - ・ 弊社単独ではインパクト投資に関する情報取得が困難であり、当コンソーシアムに参加することで**上場企業のインパクトの考え方に触れる機会を得られるため**。
 - ・ 開催日程調整上いたしかたないことは思うが、オンライン開催が多く、**単なる交流会を超えたネットワーク形成にはやや繋がりにくかったため**
- どちらでもない
 - ・ ディスカッションメンバーとしての参加やフィールドワークへの同行がないと、**情報収集だけの場で終わってしまっている**
 - ・ **知識が乏しいこともあり理解できないことが多々ある一方で**、分科会の**時間もちょっと長く、全部を通して聴くことが困難**な場合がある。
 - ・ あまり新鮮なインプットはなかったが、**複数の方のお話を同時に聞けるという点では効率的**であったため

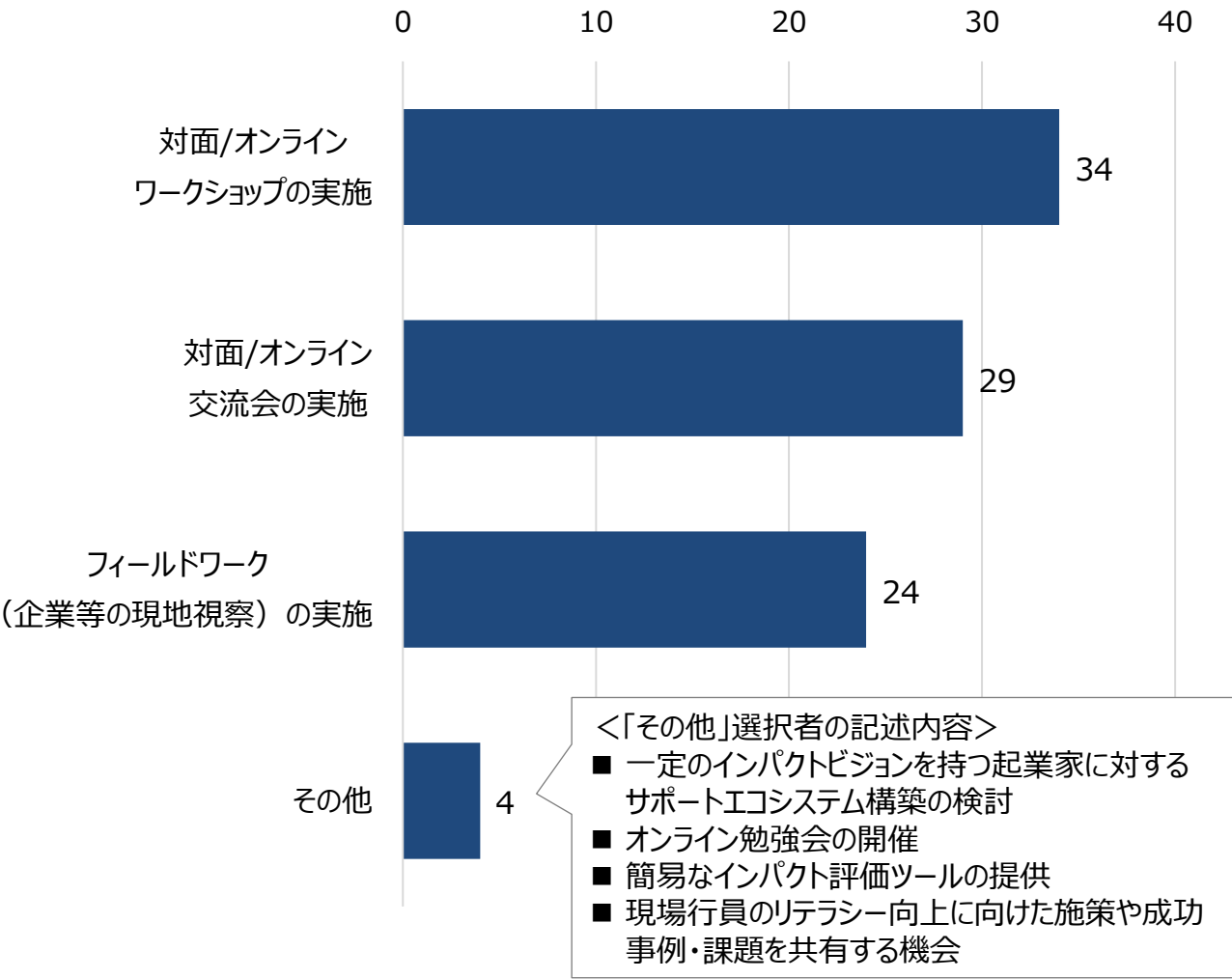
今後の分科会に対する要望や期待

回答者の大半が、「対面/オンラインワークショップの実施」を要望として挙げていました。また、「対面／オンライン交流会の実施」や「フィールドワーク（企業等の現地視察）の実施」についても、多くの回答者が要望として挙げていました。

分科会への参加状況（n=64）



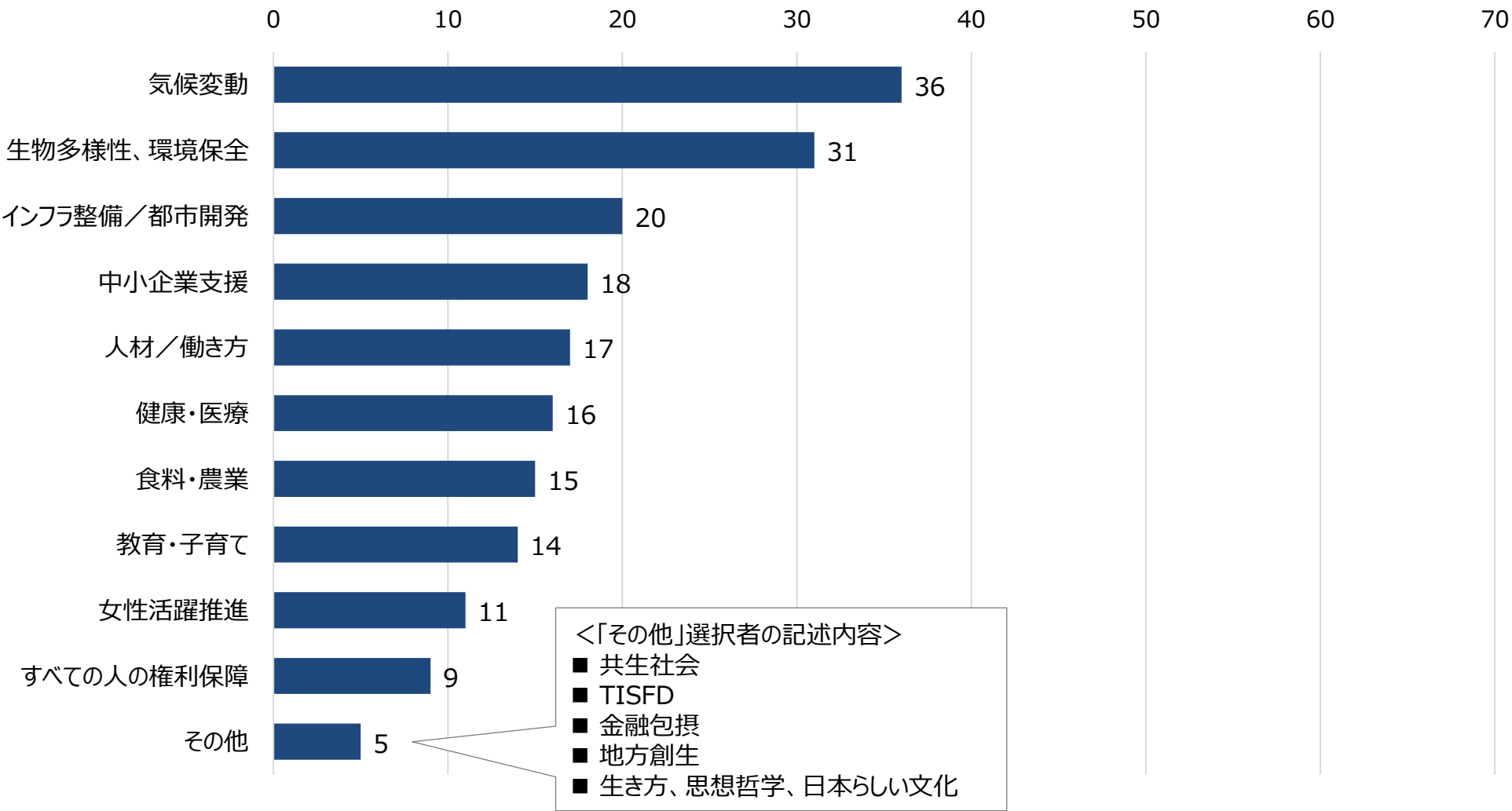
今後の分科会に対する要望や期待（n=37、分科会参加者のみ、複数回答可）



関心の高い課題

約半数の回答者が、「気候変動」「生物多様性、環境保全」に関心の高いテーマとして挙げていました。

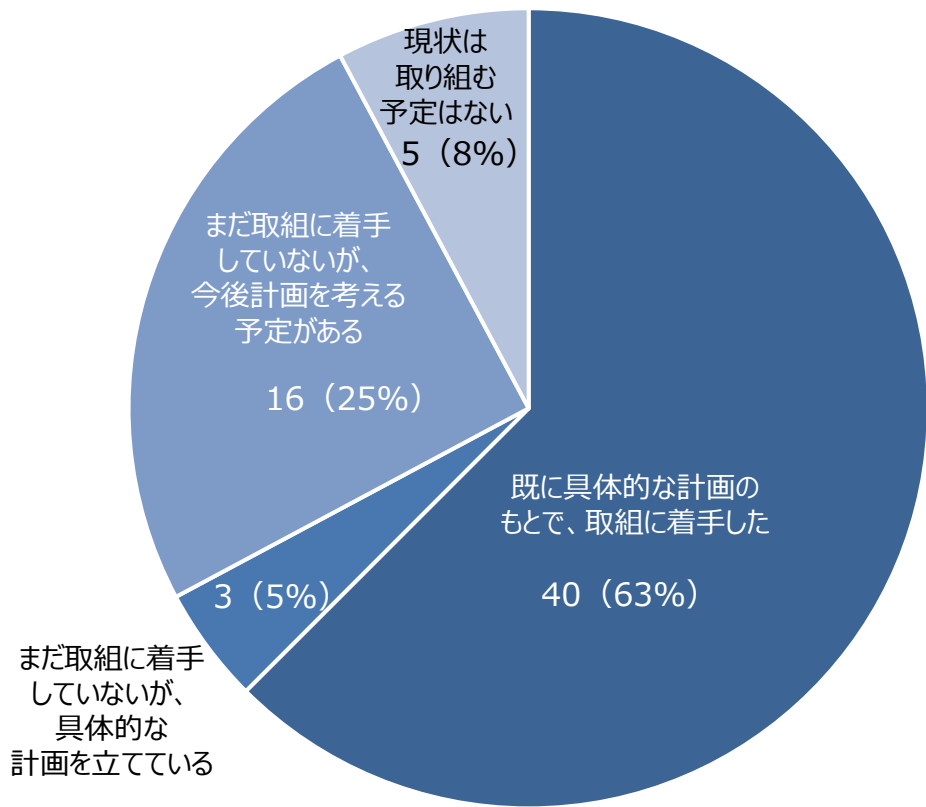
関心の高い課題（n=64、複数回答可（一人3つまで選択））



直近1年間のインパクトに係る取組の実施状況

回答者の60%が「既に具体的な計画のもとで、取組に着手した」と回答しており、インパクトへの取組は実行段階に進んでいると見受けられます。また、取組内容は、インパクトファイナンスの実践、IMM・評価/開示の高度化、支援先への伴走支援などが挙げられました。

インパクトに係る取組の実施状況（n=64）



主な取組みテーマ（詳細次頁）

- **既に具体的な計画のもとで、取組に着手した**
具体的な取組みテーマとして、主に以下が挙げられた。
 - ・ インパクトファイナンス・投資の実行
例：インパクト投資、PIF、ファンド組成、独自商品提供
 - ・ IMM・評価・開示の高度化
例：インパクト測定、レポート作成、評価枠組み構築
 - ・ 支援先・クライアントへの伴走支援
例：ToC/ロジックモデル策定支援、インパクト開示支援
 - ・ 地域・社会課題に紐づく実践
例：森林再生、地域共生、寄付仲介、脱炭素連携
- **まだ取組に着手していないが、具体的な計画を立てている・まだ取組に着手していないが、今後計画を考える予定がある**
着手済のテーマと重なるものもみられるが、今後の展開先として主に以下のテーマが挙げられた。
 - ・ 企業・起業家・NPOへの支援拡大
 - ・ 自社戦略・サステナビリティ経営への組み込み
 - ・ 人材育成、人的資本・人権への展開
 - ・ 脱炭素、生物多様性、資源エネルギー分野への展開

直近1年間のインパクトに係る取組の実施状況

インパクトに関する取組みは、既に着手されているインパクトファイナンス、IMM・評価/開示、伴走支援、地域・社会課題対応を中心に広がっており、今後は企業・起業家・NPO支援、自社戦略への組み込み、人材・人権、脱炭素・生物多様性・資源エネルギー分野などと展開していく方向と考えられます。

取組の実施状況別 取組テーマの回答割合（取組テーマはコメントより抽出）

		直近1年間のインパクトに係る取組の実施状況		
		既に具体的な計画のもとで、 取組に着手した (n=40)	まだ取組に着手していないが、 具体的な計画を立てている (n=3)	まだ取組に着手していないが、 今後計画を考える予定がある (n=16)
取組 テーマ の 分類	インパクトファイナンス ・投資の実行	17件 (43%)	0件 (0%)	1件 (6%)
	IMM・評価・開示の高度化	16件 (40%)	0件 (0%)	2件 (13%)
	支援先・クライアントへの 伴走支援	4件 (10%)	2件 (67%)	2件 (13%)
	地域・社会課題に紐づく実践	7件 (18%)	0件 (0%)	2件 (13%)
	企業・起業家・NPOへの 支援拡大	4件 (10%)	2件 (67%)	5件 (31%)
	自社戦略・サステナビリティ 経営への組み込み	6件 (15%)	0件 (0%)	5件 (31%)
	人材育成、人的資本・人権 への展開	1件 (3%)	0件 (0%)	3件 (19%)
	脱炭素、生物多様性、 資源エネルギー分野への展開	3件 (8%)	1件 (33%)	2件 (13%)
	その他	1件 (3%)	0件 (0%)	3件 (19%)

 :30%以上
 :15%以上

※ 本分析は自由記述の内容をもとに、該当する取組テーマへのフラグ付与（複数選択可）を行い、集計しています。1つのコメントが複数の要素を持つ場合、それぞれにカウントしているため、実施状況内比率の縦計は100%を上回ります。

※ 「まだ取組に着手していないが、具体的な計画を立てている」の回答（n=3）は分母が小さいため、構成比の偏りが大きくなっています。